

KIWAMI AAA+®



小1から小6対象「算数脳・図形脳」を伸ばすのは、小学生の今!



極 きわみ



図形の極・数の極
KIWAMI AAA+

公式に頼ることなく、直感的なひらめきで図形問題を解く力を身につける『図形の極』の親子体験会です。

NEXUS東札幌教室

白石区東札幌3条2丁目1-3



【日時】 [親子体験会 実施要項]

9/23 (火祝) ①10:00~11:00

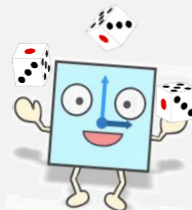
②13:00~14:00

【会場】札幌練成会 東札幌教室

【対象】小学1年生~6年生の生徒さま・保護者さま

※日程のご都合がつかない場合はご相談ください。

参加
無料



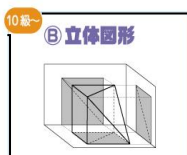
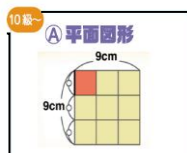
図形の極 きわみ

自分から進んで取り組み、図形が得意になる!
知らないうちに思考力がつく工夫がいっぱい!

1

直感的に理解する力を育てる「動く教材」

教科書では高学年になってから学習することも、低学年から扱います。豊富なアニメーションを見ていく中でイメージが頭の中で再生できるようになります。

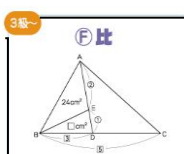
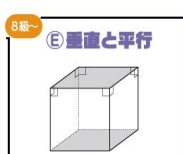
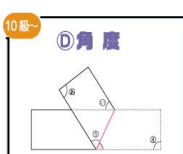


2

「7つの分野」をスパイラル学習

図形問題を7つの分野に分類し、その上で10段階の級に細分化。級の進行に合わせて問題内容を高度化しながら学習していきます。

(平面図形/立体図形/展開図/角度/垂直と平行/比/動く図形)



3

「進級式」で、上位級に挑んでいく楽しさ!

「図形の極」では学年・年齢に関係なく挑戦できる進級式を採用。理解度に合わせてレベルアップしていく楽しさもあり、子どもたちの負けん気と向上心をかきたてます。

数の極 きわみ

やり方の暗記ではなく、式の意味から考え、理解する！
アニメーションを用いた授業で、楽しく読解力を伸ばす！

1 やり方の暗記ではなく、「考え方」を理解する映像

かけ算、わり算、分数、速さ、割合といった小学校で学習する算数の考え方から特殊算まで映像で学習し理解します。映像を何度も見返して「考える力」も伸ばします。



2 読解力を養う「長文問題」

算数の長文問題も取り組みます。ただ数字を拾って計算する癖をつけることなく、習ったことを活用するように意味を考えて答える訓練をします。

「AAA」はAI(人工知能)、Animation、AR(拡張現実)の意味です。これらにテキストも加えて学習することを「+」で表しています。
KIWAMI AAA+は『タブレット×テキスト』のハイブリッド学習です。個人ID パスワードを発行しますので、ご家庭でも学習できます。

進級していくと、こんな問題も解けるようになるかも！

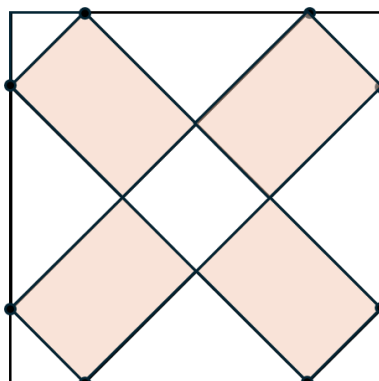
キミはできるかな？ ～『図形の極』で学習する内容から問題！～

- Q1 立方体の外がわの面に「れんせ」とかきいれました。
この立方体をひらいたとき、それぞれの文字はどこにかいてありますか。文字の向きにも注意して、展開図にかきいれないさい。



【ヒント】 左の箱の形を、切りってひるげたら、右の図になるよ。

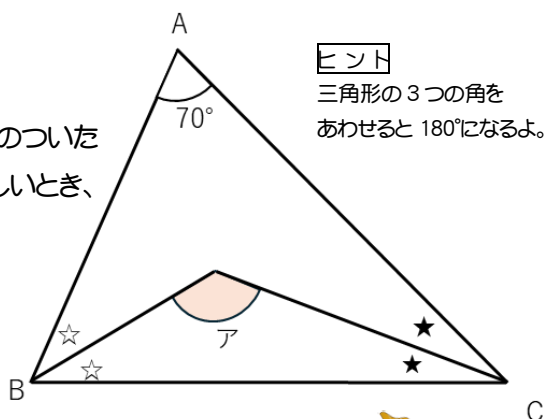
- Q2 下の図のように、正方形の各辺を、4cm、10cm、4cmに分ける点があります。色をつけた部分の面積を求めなさい。



【ヒント】
面積とは「広さ」のこと。
1 辺が 1cm の正方形の広さが 1cm^2 (1 へいほうセンチメートル)。
三角形の面積は 底辺×高さ÷2
正方形の面積は 1 辺×1 辺だったね。



- Q3 右の図で、同じ印のついた角の大きさがひとしいとき、アの角の大きさを求めなさい。



【ヒント】
三角形の 3 つの角をあわせると 180° になるよ。



キミはできたかな？『むずかしい』と思っても大丈夫。10 級から丁寧に学習を続けると、こんな問題たちもスラスラできるようになります！

Q1～3は、中学受験や中学校のテストにもでてくることがある問題です。「図形がどうなっているかイメージできない・理解できない」となると、解法の暗記をしてテストに臨むことになります。

低学年からの図形学習が大切です。

